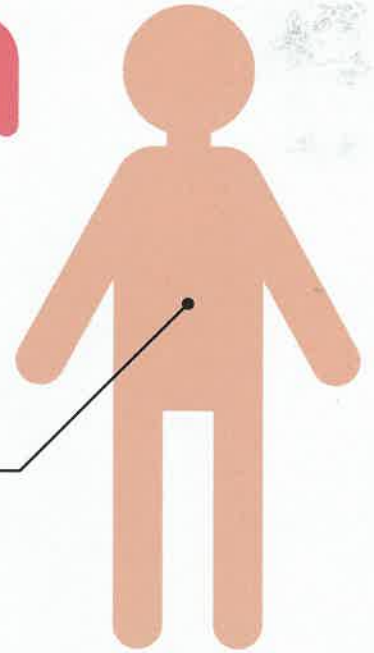


臓器のはなし



今月は 糖尿病 その怖さとは？

生活習慣病で『一番の難病』

血糖値が下がりにすぎると危険な場合も

生活習慣病には高血圧、脂質異常症などの病気があり、糖尿病もその一つです。生活習慣病で一番の問題点は、動脈硬化によって血管の老化を早めてしまうこと。太い血管が細くなると詰まる大血管障害により、脳梗塞や心筋梗塞という怖い合併

症を招くリスクが高まるのです。

生活習慣病は、どれも初期段階だと痛みがないケースが多く、糖尿病も、昔なら病院に行かず命を落とすてしまう方も少なくありませんでした。今は健康診断などで見つけ、早期の治療が可能になっています。

糖尿病が特に問題視されるのは、治療困難な例が多いからです。高血圧と脂質異常症に関しては、薬の服用により、比較的安全に血圧やコレステロール、中性脂肪のコントロールができます。よほど下がりにすぎなければ、大きな問題はありません。

一方、薬で血糖値を下げる場合、食事が少ない時や運動量が多い時など、薬の効果で血糖値が下がりにすぎると意識を失うことも…。低血糖は心臓や脳にも悪影響をおよぼし、繰り返すと死期が早まるという論文も報告されています。下げたくとも下げられないという、治療が難しいケースがあるのです。

身体中の血管へのダメージで透析、失明、足を切断…

このように、他の生活習慣病より食事の影響を受けやすく、薬でコン

トロールし難いのが糖尿病です。まず人間にはエネルギーを蓄える機能があるため、食べる量を抑えるのは、かなりの苦痛です。食事療法はメンタルに関わる部分が大きいため、精神的な難病ともいえますね。

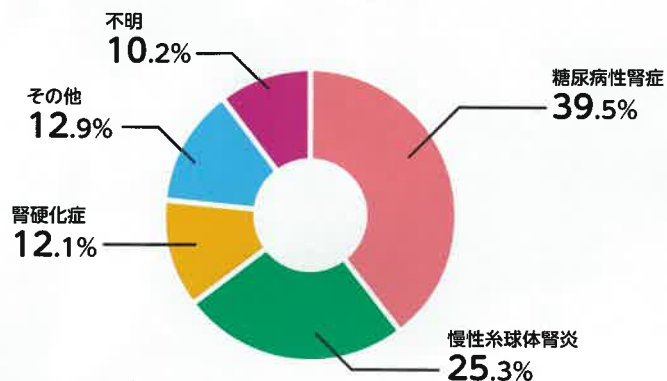
そして警戒すべきが腎臓と眼、神経に関わる「大合併症」。それらは太い血管ではなく、各所の細い毛細血管で合併症を引き起こします。

「腎臓」の障害が増悪した際の治療法「透析」を始める原因となる疾患の第1位が糖尿病。「眼」は国内だと緑内障に続き、糖尿病が失明の原因第2位に挙がっています。「神経」では自律神経障害で胃の動きが悪くなり、消化されない食べ物が胃にたまる、胃不全麻痺の主因にもなっています。さらに心臓の動きも自律神経がつかさどるため、糖尿病の影響で突然死の原因、不整脈を招きます。

足の切断を余儀なくされる場合もあります。足の神経障害により痛みや感覚が鈍くなると、ケガをしても気づかず細菌感染し、壊疽（組織が腐ってしまう）を引き起こすのです。

怖い病気、糖尿病。次回から、ならないためのポイント、を解説します。

透析患者の原因となる疾患



出典：日本透析医学会統計調査委員会「わが国の慢性透析療法の実況」(2020年12月31日現在)より作成

監修

浅海 直
あさみ すなお
(医療法人社団 平成医会 産業医)



1993年千葉大学医学部卒。2007年12月まで松戸市立福祉医療センター東松戸病院(内科副部長)、2008年1月より板橋区役所前診療所に勤務。専門分野は糖尿病、脂質異常症、甲状腺疾患等の代謝・内分泌疾患および老年医学。